

6月

哀しみの夏がやって来る
哀しい暑さとけだるさがやって来る
考える者には、あの太陽は非情で無慈悲だ
あらゆる思考を拒み、それを奈落に押し沈めるあの太陽が

彼奴は慰みを与えずに、行動を強制し俺を急きたてる
だが俺はただ鬱々と沈んでゆくだけだ
何をすればいいと言うのだろう、この腐肉の塊である俺に
ああ、俺には無為と怠惰があるばかりだ
しかし無為と怠惰もまた俺を押し潰すだろう
まさしくそいつ等は、あのぎらつく太陽の兄弟なのだから

ああ、哀しみの夏がやって来る
最も無益な涙を、俺に最も多く流させる夏がやって来る

(1982.6.13)